

# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2017 (平成 29) 年 第 36 週 (9 月 4 日～9 月 10 日)

## 今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 乳幼児は特に注意が必要です

### 定点把握感染症

#### 「RSウイルス感染症 流行続く」

第 36 週は前週比 11.1%減の 2,382 例の報告があった。報告の第 1 位は RS ウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナの順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 3.6、3.1、1.6、1.4、0.6 であった。

RS ウイルス感染症は前週比 7%減の 728 例で、南河内 6.9、大阪市北部 6.3、大阪市西部 5.6 であった。前週よりやや減少したものの、流行状態は継続している。2 歳までの報告数が 635 例(87%)と大半を占めている。

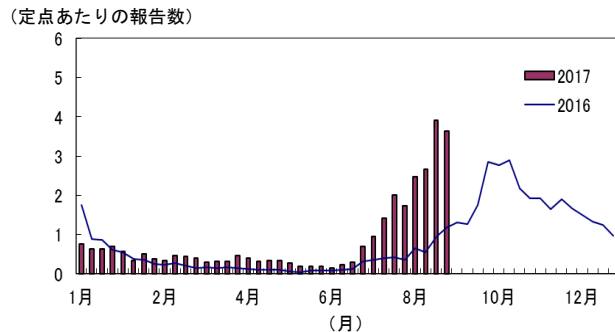
感染性胃腸炎は前週比 16%減の 629 例で、中河内 5.4、泉州 5.1、南河内 4.9 の順である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比 29%増の 321 例で、豊能 2.3、大阪市東部 2.2、大阪市西部・北河内・中河内・南河内 1.8 の順となっている。

手足口病は前週比 26%減の 272 例で、南河内 3.8、大阪市西部・中河内共に 1.7 の順であった。

ヘルパンギーナは 32%減の 123 例で、南河内 1.2、北河内・大阪市北部共に 1.1 の順であった。

RSウイルス感染症



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

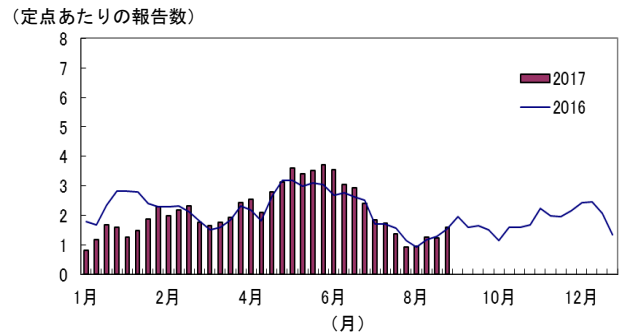


表 1. 大阪府小児科定点把握感染症の動向 (2017 (平成 29) 年 第 36 週 9 月 4 日～9 月 10 日)

第 36 週 の順位	第 35 週 の順位	感染症	2017 年 第 36 週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2016 年 第 36 週の 定点あたり 報告数	2017 年 第 36 週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	RS ウイルス感染症	3.6	7%減	1.2	1 歳_38%
2	2	感染性胃腸炎	3.1	16%減	3.9	1 歳_14%
3	4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.6	29%増	1.5	5 歳_19%
4	3	手足口病	1.4	26%減	0.3	1 歳_33%
5	5	ヘルパンギーナ	0.6	32%減	0.6	1 歳_32%

## 第 36 週のコメント

～ 腸管出血性大腸菌感染症 ～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

### 全数把握感染症

#### 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものは O(オー)157、O26、O111 がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5 日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは 37℃ 台である。有症者の 6-7% では、発症数日後から 2 週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[感染症の話\(国立感染症研究所\)](#)

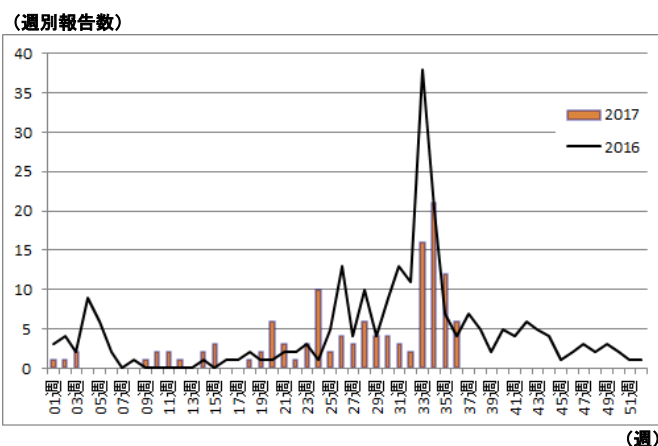


表 2. 大阪府全数報告数 (2017(平成 29)年 第 36 週 9 月 4 日-9 月 10 日)

\* ) 注意 : この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 6名 (北河内ブロック 1名、中河内ブロック 1名、堺市 1名、大阪市 3名、府内累積報告数 124名)
4類感染症	E型肝炎 1名 (北河内ブロック 1名、府内累積報告数 8名) チクングニア熱 1名 (泉州ブロック 1名、府内累積報告数 2名) デング熱 1名 (大阪市 1名、府内累積報告数 12名) レジオネラ症 4名 (豊能ブロック 1名、三島ブロック 1名、堺市 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 55名)
5類感染症 (麻しん、風しんは除く)	急性脳炎 1名 (南河内ブロック 1名、府内累積報告数 31名) 後天性免疫不全症候群 2名 (堺市 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 126名) 梅毒 8名 (豊能ブロック 2名、大阪市 6名、府内累積報告数 513名) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1名 (南河内ブロック 1名、府内累積報告数 20名)
結核 (2017年7月分)	結核 新登録患者数:183名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 86名) (府内累積報告数 1127名、内 肺・喀痰塗抹陽性 470名)
麻しん、風しん	報告はありません

(2017年9月12日 集計分)